

イズムコンシェルジュ > TDWレポート、ドバイデザインにアート展

TDWレポート、ドバイデザインにアート展

2011年11月4日 23:00

1 2 3 4 5 6 >

6日まで開催中の東京デザイナーズウィーク2011。初日から晴天に恵まれて客足も好調、その見どころをピックアップレポート！

メインコンテンツ「環境デザインTENT」の中で、ひときわ異彩を放っていたのは「Dubai Futures（ドバイ・フューチャー）。中東屈指のメトロポリス、ドバイのデザイン最先端を見ることができるブースだ。



家具デザイナーのハリド・シャファル（Khalid Shafar）氏が展示する家具のプロトタイプは、アラブの伝統的な文化を新しい視点でとらえ直したもの。「ARABI」と名付けられたシリーズでは、アラブの男性が暑さや砂塵から頭を守るために使用するトラディショナルな頭巾「シュマーグ」を押さえるための輪「イガール」をモチーフにして、パーティションや照明など、さまざまな家具のプロトタイプを展開している。



「ARABI」シリーズの照明

イズムコンシェルジュ > TDWレポート、ドバイデザインにアート展

TDWレポート、ドバイデザインにアート展

2011年11月4日 23:00

< 1 2 3 4 5 6 >

ハリド・シャファル氏がこのユニークなシリーズの着想を得たのは、ブラジルのカンパーナブラザーズのオフィスを訪れた時のことだそう。先入観にとらわれず、トラディショナルなものの価値を再発見しながら、物語を内包する新しい家具、インテリアを生み出していきたいと話す。ドバイとニュージーランドを拠点に活動するハリド・シャファル氏の今後に要注目。



テント用のロープを使用したチェア「ILLUSION」



< 1 2 3 4 5 6 >